

# 第1章 令和4年度決算総括

## 1 決算の概要

令和4年度の我が国の経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、世界的なエネルギー・食料価格の高騰など、経済を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした状況のなか、本市では、令和4年度は、最上位計画である「第6次江南市総合計画」の5年目となり、この計画に基づき、将来像に掲げた「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現に向け、人口減少社会を見据えたうえで、新たな財源を確保しながら、「まちづくり分野」、「ひとづくり分野」、「しごとづくり分野」、「ちいきづくり分野」、「行政分野」の5つの分野において各施策の推進を図りました。

一般会計については、当初予算額 320 億 7,078 万 1 千円で、前年度当初予算額 298 億 8,310 万 4 千円と比較して 21 億 8,767 万 7 千円の増(+7.3%)となりました。また、補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応などにより 13 回編成し、総額 55 億 7,454 万 6 千円を増額、これに令和3年度からの繰越明許費及び事故繰越の繰越額 8 億 9,259 万 7 千円を加えて、最終予算額は 385 億 3,792 万 4 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 368 億 1,188 万 8 千円と比較しますと、17 億 2,603 万 6 千円の増(+4.7%)となりました。

決算においては、歳入 377 億 3,682 万 4 千円(前年度と比較し 3.3%増)、歳出 362 億 1,567 万 5 千円(前年度と比較し 5.1%増)となり、歳入歳出差引額は 15 億 2,114 万 9 千円です。この額から翌年度へ繰越すべき財源 3 億 3,515 万 8 千円を控除した実質収支額は 11 億 8,599 万 1 千円となり、本年度実質収支額から前年度実質収支額 18 億 111 万 4 千円を差し引いた単年度収支額は、マイナス 6 億 1,512 万 3 千円となりました。また、財政調整基金へ 9 億 158 万 2 千円を積み立て、1 億 7,550 万 6 千円を取り崩したことにより、実質単年度収支額は 1 億 1,095 万 3 千円となりました。

特別会計については、当初予算額 191 億 6,737 万 4 千円で、前年度当初予算額 183 億 5,938 万 3 千円と比較して 8 億 799 万 1 千円の増(+4.4%)となりました。また、補正予算は、10 回編成し、総額 4 億 2,774 万 1 千円を増額し、最終予算額は 195 億 9,511 万 5 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 190 億 6,921 万 6 千円と比較しますと、5 億 2,589 万 9 千円の増(+2.8%)となりました。

決算においては、歳入 186 億 8,069 万 4 千円(前年度と比較し 0.4%増)、歳出 182 億 7,154 万 2 千円(前年度と比較し 0.4%増)となり、歳入歳出差引額は 4 億 915 万 2 千円です。この額から翌年度へ繰越すべき財源 1,765 万 5 千円を控除した実質収支額は 3 億 9,149 万 7 千円となり、本年度実質収支額から前年度実質収支額 4 億 1,194 万 8 千円を差し引いた単年度収支額は、マイナス 2,045 万 1 千円となりました。

歳入面では、給与所得の増加による個人市民税(所得割)の増収や、法人市民税(法人税割)の増収などにより、市税全体では、前年度と比較して9億7,530万7千円の増収(+7.7%)となりました。国庫支出金は子育て世帯への臨時特別給付金支給事業の終了などにより15億2,547万円の減収(△18.1%)、地方交付税については、普通交付税が3億4,472万1千円の増収(+8.8%)、特別交付税が471万3千円の減収(△1.4%)となり、歳入全体では、12億1,470万2千円の増収(+3.3%)となっています。

歳出面では、新型コロナウイルス感染症やエネルギー・食料品などの価格高騰に対応するため、新型コロナウイルスワクチン接種事業、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業などを実施したほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業として、江南市キャッシュレス決済ポイント還元事業、江南市事業継続応援金交付事業や令和4年9月分から令和5年3月分までの給食費の負担軽減などを実施しました。

また、全体事業として、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の保全に関しては、市営住宅、小・中学校、保育園などの長寿命化を実施しました。また、今後の公共施設の改修・更新等に係る財政負担の平準化を図るため、公共施設整備事業基金に2億8,191万6千円を積み立てました。

まちづくり分野では、ごみ出し困難世帯に対する戸別収集(ふれあい収集)の実施、新ごみ処理施設建設の推進、交通結節点(布袋駅東地区)の整備、布袋駅付近鉄道高架化に伴う周辺整備、都市計画道路(江南通線)の整備などの事業を実施しました。

ひとつづくり分野では、新学校給食センター建設の推進、新図書館の開館準備、認可保育所の設置に係る経費の補助などの事業を実施しました。

しごとづくり分野では、企業誘致等の推進、宮田導水路上部の整備などの事業を実施しました。

ちいきづくり分野では、携帯型装置の導入による緊急通報装置設置の推進、子ども医療費の助成対象者を18歳到達年度の3月31日まで拡大などの事業を実施しました。

行政分野では、地域交流センターの開館準備、布袋駅東複合公共施設の整備などの事業を実施しました。

今後も、景気の動向を注視しつつ、社会経済情勢の変化に対応しながら、積極的な財源確保に努めるとともに、限られた財源の中で、事業の必要性、有効性、効率性を検証し、創意工夫を凝らしつつ、事業の取捨選択を実施し、「財政健全化」と「市民サービス確保」のバランスを取りながら行財政運営を進めていきます。

## 2 決算の総括表

歳 入

(単位:千円、%)

会 計 別		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率
一 般 会 計		36,522,122	37,736,824	1,214,702	3.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9,297,489	9,077,933	△ 219,556	△ 2.4
	土 地 区 画 整 理 事 業	80,197	159,140	78,943	98.4
	介 護 保 険	7,751,428	7,883,796	132,368	1.7
	後 期 高 齢 者 医 療	1,484,449	1,559,825	75,376	5.1
	小 計	18,613,563	18,680,694	67,131	0.4
合 計		55,135,685	56,417,518	1,281,833	2.3

歳 出

(単位:千円、%)

会 計 別		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率
一 般 会 計		34,460,736	36,215,675	1,754,939	5.1
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9,069,169	9,004,554	△ 64,615	△ 0.7
	土 地 区 画 整 理 事 業	80,197	141,485	61,288	76.4
	介 護 保 険	7,576,679	7,575,358	△ 1,321	△ 0.0
	後 期 高 齢 者 医 療	1,475,570	1,550,145	74,575	5.1
	小 計	18,201,615	18,271,542	69,927	0.4
合 計		52,662,351	54,487,217	1,824,866	3.5